



# 「セキュリティ対策の強化のお知らせ」

2017年3月8日

NTTアイティ株式会社

# セキュリティ対策の強化について

ひかりワンチームSPでは一層のセキュリティ強化を目的にインターネット通信で使用する 暗号化方式の変更を行います。

以下の通り、よりセキュリティ強度の高い「TLS1.2」のみを対応とするような変更を実施 致します。

	現在	3月21日以降
暗号化方式	「TLS1.0」「TLS1.1」「TLS1.2」	「TLS1.2」のみ

#### 変更実施日時

### 2017年3月21日 20:00~24:00

上記の時間帯では、一時的にサービスがご利用いただけなくなる場合があります。

お客様にはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解を頂きますようお願い申し上げます。

# ご利用環境ごとの影響について

環境(OS)	ブラウザ	影響
iPad	Safari	影響なし(ios8.1以降であれば)
Android	Chrome	影響なし(Android4.1以降であれば)
Windows	IE 11, Chrome	TLS1.2が無効になっている場合は 有効化が必要
Mac (*)	Safari	影響なし(Safari7以降であれば)

(\*) Mac Safari は推奨動作端末に含まれておりませんが、参考情報として記載しております。

「影響なし」と明記されている環境では何もする必要はございません。ただし、バージョンの低い端末やブラウザを使用している場合はOSやブラウザのアップデートをお願いします。

Window環境をご利用の場合、デフォルト設定で「TLS1.2」が有効になっておりますが、環境によっては「TLS1.2」が無効になっている場合もありますので、その場合は「TLS1.2」の有効化をお願い致します。

次のページにて「TLS1.2」の確認方法と有効化の手順を掲載しておりますので、事前の確認をお願い致します。

また、Windows環境の場合、「TLS1.2」の設定はどのブラウザでも共通になりま すので、Chromeをお使いの方も、次のページに示すようなInternet Explorerを 使用する手順で確認と有効化を行ってください。 Windows環境(IE11)「TLS1.2」の確認と有効化

## IE11で「TLS1.2」が有効になっているか確認する

手順1: Internet Explorerを開き、「ツール」のアイコンをクリック後「インターネットオ プション」を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックする。



**手順2**:「インターネットオプション」ウィンドウの「詳細設定」タブを開き「セキュリティ」の 項目まで画面をスクロールし『TLS 1.2の使用』にチェックがついてれば有効になってい ます。

全般	セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 プログラム 詳細設	定
設定	έ	
	<ul> <li>✓ Internet Explorer でアクセスしたサイトに Do Not Track 書</li> <li>✓ POST の送信が POST を許可しないソーンにリダイレクトされす</li> <li>SmartScreen フィルター機能を有効にする</li> <li>SSL 2.0 を使用する</li> <li>SSL 3.0 を使用する</li> <li>✓ TLS 1.0 を使用する</li> <li>✓ TLS 1.1 の使用</li> <li>✓ TLS 1.1 の使用</li> <li>✓ TLS 1.2 の使用</li> <li>✓ グ ハンロはい日 スパンロはによす。</li> <li>✓ ダウンロードしたプログラムの署名を確認する</li> <li>✓ ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする</li> <li>ブラグサーを閉じたとき、[Temporary Internet Files] フォル</li> <li>✓ マイコンピューターでの、CD のアクティブコンテンツの実行を許評</li> <li>✓ III</li> </ul>	要求を送 ^ に場合に 目 可する* ・
,	*コンビューターの再起動後に有効になります	=(P)
		L(N)

**手順1**: 『TLS 1.2の使用』にチェックがついていなかった場合は、チェックを入れて「OK」を押下します。

x   ビギ. 定 —	1974   77171	יענעבן-ע	1110元   ノロ:	114 1	HUMBAAC	
	Internet Exp POST の送信 SmartScree SSL 2.0 を使 TLS 1.0 を使 TLS 1.0 を使 TLS 1.0 の使 プLS 1.2 の使 ダウンロードした ネイティブ XML	Norer でアクセス1 が POST を許可 n フィルター機能を 用する 用する 用する 用する フログラムの電名 トロTP サポート為	したサイトに Dc しないゾーンに 行効にする る* を確認する を有効にする	Not T Jダイレク	rack 要求 トされた場合	を送 ▲ 合に
	ブラウザーを閉し	たとき、[Tempo	rary Interne	et Files	] フォルダー	を空 ~ *
	ブラウザーを閉し マイ コンピュータ	ンたとき、[Tempo アーでの、CD のア	prary Interne クティブ コンテン	et Files ツの実行	] フォルダー Fを許可する	を空 5*
□ ▼ *コンピ:	ブラウザーを閉し マイ コンピュータ コン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	びたとき、[Tempo ターでの、CD のア 111 後に有効になりま	かary Interne カティブ コンテン	et Files ツの実行	] フォルダー テを許可する	を空 3* + -
<ul> <li>■</li> <li>■</li></ul>	ブラウザーを閉し マイ コンピュータ フィーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	たとき、「Tempo ターでの、CDのア ーローグののア していていていていていていていた。 前後に有効になりま	かっていていたい かっていていたい クティブ コンテン	et Files ツの実行 洋細設が	] フォルダー Fを許可す 	を空 5*

注意:この時、『TLS 1.2の使用』以外の項目は変更しないようお願い致します。(ブラウザの動作に影響が出る場合があります。)

手順2:ブラウザを一旦閉じ、立ち上げ直したらTLS 1.2の有効化の設定は完了となります。

#### 「TLS1.2」を有効にしなかった場合

セキュリティ対策の実施後、「TLS1.2」が有効になっていない状態でひかりワンチーム SPにアクセスすると以下のような画面が表示され、サービスが利用できなくなります。



# Windows環境(Chrome)「TLS1.2」の確認と有効化

### Chromeで「TLS1.2」が有効になっているか確認する

手順1: Chromeを開き、ツールバーの「メニュー」ボタンをクリックします。

さらに、「設定」→「詳細設定を表示」→「プロキシ設定の変更」をクリックして、「イン ターネットオプション」を開きます。

詳細設定のタブを開いて『TLS 1.2の使用』にチェックがついているか確認してください。



※ インターネットオプションはWindowsのコントロールパネルから開くことも可能です。

### 「TLS1.2」を有効にする

「TLS1.2」を有効にする方法はInternet Explorerの場合と同様になります。